



様々な植物の伸長を 長期間抑制!

植物成長調整剤

グリーンフィールド® 水和剤



道路



公園・堤とう等



鉄道

- 様々な植物に対して、休眠期から生育初期に処理することにより、長期間の伸長を抑制します
- 特に種子発生の雑草に対して強い伸長抑制を示すため、雑草の侵入や繁殖も抑えることができます
- 継続して使用することで、抑制効果が高まります
- 雑草を枯らさず草丈の伸長を抑制するため裸地にならず、草原風の景観を維持できます
- 茎葉部のみ抑制し、根部には影響がないため、のり面の保護にも利用できます
- 日本芝及び西洋芝にも使用でき、処理後刈込を行っても効果が持続します

®登録商標



株式会社ニチノ緑化

●成分・性状

種類名：フルルプリミドール水和剤
 有効成分：フルルプリミドール … 50.0%
 性状：類白色水和性粉末 60μm以下

●規格

500g×4袋、50g×20袋

●安全性

※毒劇物に相当しないものを指している通称

〔毒性区分〕 普通物*	急性経口毒性(LD ₅₀)		急性経皮毒性(LD ₅₀)
	ラット♂ ♀	1,698mg/kg 1,972mg/kg	ウサギ♂♀ > 5,000mg/kg
〔魚毒性〕	コイ		
	LC ₅₀ (96hr) 26.2mg/L		

使用方法

作物名	適用場所	適用雑草名	使用目的	使用時期	㎡当り使用量		本剤の使用回数	使用方法	フルルプリミドールを含む農薬の総使用回数
					薬量	希釈水量			
樹木等	公園、庭園、堤とう、駐車場、道路、運動場、宅地、のり面、鉄道、墓地、鉄塔、工場等	一年生雑草及び多年生広葉雑草	雑草の伸長抑制	雑草発生前～発生初期	0.4～0.8g	100～300mℓ	3回以内	植栽地を除く樹木等の周辺地に全面均一散布	3回以内
作物名		使用目的	使用時期	㎡当り使用量		本剤の使用回数	使用方法	フルルプリミドールを含む農薬の総使用回数	
日本芝				草丈の伸長抑制	生育初期～生育盛期				0.2～0.4g
西洋芝(ベントグラス)		草丈の伸長抑制	生育初期～生育盛期	0.1～0.2g	250～300mℓ	2回以内	全面均一散布	8回以内(粒剤は2回以内)	
西洋芝(パーミュラダグラス、ブルーグラス)				2回以内					

●作用機作…………… グリーンフィールドの有効成分であるフルルプリミドールは主に根部より吸収され、草丈伸長をつかさどる植物ホルモン(ジベレリン)の生合成を阻害し、植物の草丈の伸長を抑えます。植物により感受性が異なります。

●抑草スペクトラム

キク科	ヨモギ、ヒメムカシヨモギ、ハルジオン、ヒメジョオン、オオアレチノギク、アメリカセンダングサ、ハキダメギク、ハハコグサ、オオキケンイギク	イネ科	メヒシバ、エノコログサ、イヌビエ、スズメノカタビラ	タデ科	イヌタデ、オオイヌタデ、イシミカワ、ヒメスイバ、ギシギシ	オオバコ科	オオバコ、タチイヌフグリ、オオイヌフグリ
		マメ科	シロツメクサ、ヤハズソウ、ヤマハギ、ツルマメ	ツクサ科	ツクサ、ムラサキツクサ	ヒルガオ科	コヒルガオ
		ナデシコ科	オランダミナグサ、ツメクサ、ノミノフスマ	サクラソウ科	コナスビ	カタバミ科	カタバミ
				シソ科	シソ、ナギナタコウジュ	イグサ科	クサイ
					ヒユ科	イヌビユ、アオビユ、シロザ	

●使用上のポイント グリーンフィールドは主に根部より吸収され、茎の先端部に移行して作用します。本剤を確実に根域到達させ、より安定した効果発現を促すために、多めの水量による散布や処理後の灌水を推奨します。

⚠ 効果・薬害等の注意

- 極端な乾燥条件下での使用はさけてください。また本剤は土壌処理剤で、効果発現のため薬剤が作物及び雑草の根域に達する必要がありますので、散布後にかん水することをおすすめします。かん水設備のない所では降雨前の散布をおすすめします。
- 本剤は対象外の周辺植物にも影響を及ぼすので、かからないように注意してください。
- 本剤は他の作物を植え付ける予定のある土地では使用しないでください。また使用後の散布器具類は十分洗浄してください。
- 本剤を芝に使用する場合は次の注意を守ってください。
 - 1) 本剤の使用により、葉の色や形が変化する等の症状がみられたり、不均一な草丈抑制をもたらしたりする場合があるので、まきむらのないよう均一に散布してください。特に極端な傾斜地での使用には十分注意してください。
 - 2) 散布後効果発現までに日数を要するので、刈込直後に処理するか、効果発現まで通常どおりの刈込管理を行ってください。
 - 3) ターフ形成前の芝生、生育が弱っている芝生、健全な芝生でも生理障害が出やすい条件の芝生には使用をさけてください。

- 4) 本剤(及び本剤と同一の有効成分を含有する薬剤)の伸長抑制効果は、一般に使用量が多いほど効果が高くなる傾向にあるので、希望する抑制程度に合わせて所定の範囲内で使用量を決めてください。また、2回以上使用する場合は、過剰な伸長抑制効果をさけるため、2回目以降の処理は効果が切れる時期に行ってください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- 水源池、養殖池等に本剤が飛散、流入しないよう十分注意してください。
- 散布器具、容器の洗浄水及び残りの薬液は河川等に流さないでください。容器、空袋等は環境に影響を与えないように適切に処理してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には予備試験を行うか、または病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

⚠ 安全使用上の注意

- 誤飲、誤食等に注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の指導を受けさせてください。使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の指導を受けてください。
- 粉末が眼に入らないように注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗してください(弱い刺激性)。
- 粉末が皮膚に付着しないように注意してください。皮膚に付着した場合は直ちに石けんでよく洗い落としてください(弱い刺激性)。
- 散布の際は、農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業服等を着用してください。また散布液を吸い込んだり浴びたりしないように注意してください。作業後は手足、顔等を石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 公園、堤とう等で使用する場合は、小児や散布に関係のない者を作業現場に近づかせないでください。居住者、通行人、家畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。散布後少なくとも散布の当日は散布区域に縄囲いや立札を立てる等して、立ち入らないよう配慮してください。
- 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管してください。

●食べられません。 ●使用前にラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。
 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●使用後の空袋は圃場等に放置せず、廃棄物処理業者に委託する等により適切に処理してください。

取扱店